

使用頻度から見る韓日同形の一字漢語動詞

裴晋影*

bjy3175@naver.com

Contents

1. はじめに
2. 研究方法
3. 「NTTデータベース」による使用頻度
4. おわりに

Abstract

韓国語の「漢語+hada」動詞は日本語の「漢語+スル」動詞の語彙形態と非常に類似している。本研究は、このように、韓日の漢語動詞の語彙形態が類似していることに着目し、韓国語の一字漢語動詞を中心に、韓日で同形対応する一字漢語動詞のみを対象とし、日本語での韓日同形一字漢語動詞の使用傾向、及び、固有語動詞の類義語を持つ韓日同形一字漢語動詞を対象に、その一字漢語動詞と類義の固有語動詞の使用傾向をみたものである。その結果、韓国語と同形対応する日本語の一字漢語動詞を使用頻度でみると、韓日同形対応を示す一字漢語動詞には高頻度のものが多いことがわかった。また、固有語動詞とも対応する韓日同形一字漢語動詞の使用頻度比較では、同形一字漢語動詞の方が類義の固有語動詞よりも高頻度となるのは約12%に過ぎず、韓日で同形の一字漢語動詞が用いられる場合でも、日本語における使用頻度は類義の固有語動詞よりも非常に低くなる傾向であることが判明した。この結果により、韓日で同形対応をみせる一字漢語動詞でも、韓国語一字漢語動詞をそのまま日本語に対応することの難しさが明らかになったであろう。

Key Words : 漢語動詞、一字漢語動詞、韓日同形対応、固有語動詞

1. はじめに

韓国語の「漢語」に「hada」を付けて、動詞化する「漢語+hada」動詞の語彙形

* 日本女子大学 大学院 博士課程

態は日本語の「漢語」に「スル」を付けて動詞化する「漢語+スル」動詞の語彙形態と非常に類似している。このような、類似した語彙形態から、韓国人日本語学習者は新しい語彙である固有語動詞をわざわざ覚えるより母語でよく用いる漢語の漢語動詞(以降、「漢語+スル」・「漢語+hada」動詞は共に「漢語動詞」と呼ぶ。)をとる傾向がある。しかし、これにより、以下の(2)'や(4)'のように、非文とは言えないまでも不自然な表現となる場合も少なくない。

(1) 지금까지 인간관계로 고민한 적은 없다.

(Jigeum kkaji 人間関係ro 苦悶han jeogeun eobs-da)

(2) 今まで人間関係で悩んだことはない。

(2) 今まで人間関係で苦悶したことはない。

(3) 21세기 시장 상황은 변했다.

(21世紀 市場 状況eun 変heass-da)

(4) 21世紀の市場状況は変わった。

(4) 21世紀の市場状況は変じた。

(1)の「고민하다(苦悶hada)」は日本語での対応語には、『民衆エッセンス韓日辞典』によると、「苦悶」の同形漢語に「スル」をつける「苦悶する」の漢語動詞と、「悩む、思い煩う」の固有語動詞がある。このように、韓日両言語で同形漢語からなる漢語動詞がある場合、(2)より(2)'のような表現をする傾向が少なくない。(1)に用いられる韓国語の「고민하다(苦悶hada)」は「괴로워하다(goerowo-hada)」の固有語動詞(固有語+hada)もあるが、「괴로워하다(goerowo-hada)」より「고민하다(苦悶hada)」の漢語動詞が使用頻度も高く¹⁾、韓国語でよく用いる漢語動詞をそのまま日本語の漢語動詞の語彙形態に入れ替えることで、上記のような不自然な文になってしまうのである。(3)に対して(4)(4)'も同様の例と言える。

このように、韓日両言語の漢語動詞は、両言語が漢語を用いることや、名詞を動詞化する際の動詞化の形態が類似していることから、両言語を理解しやすい反面、むやみに、母語で用いられている語彙をそのまま使い、「スル」や「hada」

1) 国立国語研究院編(2003)『現代国語使用頻度調査』, 国立国語研究院(韓国))によると、「고민하다」の使用頻度は66例「괴로워하다」の使用頻度は16例である。

をつけ替え、誤用や不自然な文を作り出す例を自分や周りの日本語学習・日本語教育、また、韓国語教育などを通して多く耳にする。

裴晋影(2006)²⁾では1950年から2000年までの韓日両言語の「漢語動詞」の使用傾向について、対照を行った。その結果、両言語とも、近年、漢語動詞の割合が増加していることがわかった。とりわけ、韓国語にそうした傾向が強く、2000年の割合をみると、固有語動詞は異なり語数で約49%、漢語動詞は異なり語数で約44%を占める。このような漢語動詞の高い割合は、韓国の日本語学習者が日本語を学習する際、新たに「固有語動詞」を覚えるより、ある程度、規則的な読み方を覚えれば使える「漢語動詞」を、用いてしまう要因の一つかもしれない。

漢語動詞における従来の研究は、「二字漢語＋スル」「二字漢語＋hada」動詞に関する研究が主流であり、「漢語＋スル・hada」動詞の誤用や相違点等を取り上げた文法的な面での研究が主に行われてきた。「hada」動詞(以降、両言語とも「一字漢語動詞」と呼ぶ。)に関する韓日同形一字漢語動詞の対応語に注目した語彙面からの研究はほとんどなく、とりわけ、使用頻度を用いた研究はほとんどなされていないのが現状である。

裴晋影(2007 a)³⁾では、韓国語の漢語動詞全体とその類義語の使用傾向の対照分析の中で、韓日で同形漢語動詞を用いるのは80%を超えるが、韓日同形対応を見せる漢語動詞の、同形漢語名詞との使用頻度比較では、類義の固有語動詞の使用頻度の高いものが半数近いことがわかった。この頻度比較は同形漢語動詞ではなく、同形漢語名詞とその類義の固有語動詞との使用頻度比較にもかかわらず、固有語動詞の使用頻度が同形漢語動詞の使用頻度に劣らないことがわかった。

裴晋影(2008)⁴⁾では、辞典や新聞などで用いられる韓国語一字漢語動詞の日本語での対応傾向の分析の中で、調査対象としたいずれのジャンルにおいても、

2) 裴晋影(2006)「日韓の「漢語＋hada」動詞の対照的研究—新聞社会面の動詞に注目して—」『東アジア文化研究』第11輯、東アジア文化学会、pp.421～434

3) 裴晋影(2007 a)「韓日動詞の対照研究—韓国語の「漢語＋hada」動詞に対応する日本語の動詞を中心として—」『日本近代学研究』第15輯、pp.131～143

4) 裴晋影(2008)「韓国語一字漢語動詞における日本語の対応傾向」『東アジア日本学会』、春季国際学術大会及び招請講演、pp.172～177

韓国語一字漢語動詞と日本語とが同形対応する割合は、40%前後であることがわかった。

韓日同形漢語動詞のうち、その類義の表現がある場合、日本語学習者はその使い分けが非常に難しい。上記の(2)(2)'(4)(4)'の使い分けは非文でもないということで研究に難しい点もあろう。このような問題点を解決するためには、韓日両言語の「漢語+スル」・「漢語+hada」動詞だけでなく、それらの類義語となる固有語動詞をも含めた語彙的な対応関係の調査分析が必要である。両言語の同形対応する漢語動詞とそれらの類義語との使用頻度を比較しあうことで、日本語のより豊富な語彙表現及びより適切な表現の選別ができるであろう。

したがって、本研究では、韓日の漢語動詞の語彙形態が類似していることに着目し、韓国語の一字漢語動詞を中心に、日本語と同形対応を見せている漢語動詞中、固有語動詞の類義語を持つ韓日同形の一字漢語動詞のみを対象とし、日本語での韓日同形一字漢語動詞の使用傾向、および、固有語動詞の類義語を持つ韓日同形一字漢語動詞を対象に、その一字漢語動詞と類義の固有語動詞の使用傾向をみることにする。

2. 研究方法

2.1. 研究対象及び方法

主な調査対象としては、韓国語における一字漢語動詞を網羅的に収録し、かつ、対応する日本語動詞の情報も得られるものとして、『民衆エッセンス韓日辞典』⁵⁾見出しに掲げられた韓国語の一字漢語動詞の全182例中、韓日で同形対応する一字漢語動詞65例を対象とし、また、『現代国語例解辞典』でみられる日本語一字漢語動詞278例を補助的な対象とした。なお、韓日同形一字漢語動詞とその類義の固有語動詞の使用頻度の比較では、類義の固有語動詞を持つ韓日同

5) 安田吉美・孫洛範・李淑子・箕輪吉次編(2006)『民衆エッセンス韓日辞典』～全面改訂版、民衆書林

形一字漢語動詞41例を対象とした。上記の使用頻度比較は、NTTデータベースシリーズ『日本語の語彙特性』第7巻⁶⁾の単語頻度を用いた。

韓日両言語の漢語動詞の対照研究を行うのに際し、まず、本稿での韓日の「漢語動詞」の認定基準について明らかにしておきたい。

日本語は、「漢語+スル」動詞で、スルの前に来る成分が字音語であるものを対象とし、韓国語は、漢字で表記できる「漢語+hada」動詞で、「hada」の前に来る成分が韓国語漢字音で発音されるものを対象とする。なお、「漢語+hada」形容詞は対象から除く。

また、韓日両言語の「一字漢語動詞」の認定基準は、上記の「漢語動詞」の認定基準と同様で、「hada」・「スル」の前に来る漢語が漢字一字に構成される語を指す。ただし、日本語の場合、「一字漢語+ジル」・「一字漢語+ズル」・「一字漢語+ス」・「一字漢語+ゼル」の形態も本稿では「一字漢語動詞」と見なす。

なお、韓国語一字漢語動詞における日本語の対応の基準は、一字漢語動詞それぞれに対し、上記辞典での日本語語彙に用いられている日本語動詞(一字漢語動詞、二字以上の漢語動詞、固有語動詞、その他)を「対応」する語(類義語)と認定し、韓国語と同じ漢語部を持つ日本語の一字漢語がある場合は「同形対応」、そうでない場合は「異形対応」と分類することとした。

2.2. 各語の使用頻度の算出方法について

本研究では韓日同形漢語動詞とその類義の固有語動詞の使用頻度を比較するため、『NTTデータベース日本語の語彙特性』第7巻の単語頻度を用いている。本単語頻度データベースは1985年から1998年までの14年間に発行された朝日新聞の紙面に基づいて朝日新聞社が作成した記事データを、高速日本語形態素解析システム「すもも」(1997)を使用して形態素解析し、その結果形態素として得られた単語を計数し、単語頻度データベースを構築したものである。この単語頻度データベースの異なり語数の単語数は341,771であり、その中で、動詞は14,951

6) 天野成昭・近藤久公編(2000)『NTTデータベースシリーズ 日本語の語彙特性』第7巻、三省堂

である。

本研究での単語頻度の算出方法は以下の通りである。

① 基本的には、対象とする漢語動詞およびその類義の固有語動詞に対し、それぞれの頻度を数える。ただし、入力ミスなどによる明らかにおかしい検索結果が出た場合、筆者の判断で、それに相当する語の頻度を数える。たとえば、「変化」をNTT-DBで検索した結果、読みが「ヘンカ」としては、その例が見当たらず、「へんげ」で頻度が検索された。このような場合、「へんか」を「へんげ」との入力ミスと判断されるので、「へんか」の頻度として数える。

② 同音異表記の語については、『現代国語例解辞典』に基づき、同語・異語の判断を行い、同辞書の同一見出し語の下に並ぶ場合は同一語と見なし、異なる見出しとなる語は別語と認定した。たとえば、「かかわる」は上記の辞典によると、「関わる・係わる・拘わる」が同一の見出しに記されており、この場合、「関わる・係わる・拘わる」はすべて同一語と見なし、それぞれの語の頻度を全て足したのが「かかわる」の頻度数となる。

③ 頻度検索の際、同一の語でも送り仮名が異なる場合、別々の頻度で検索されるが、この場合も、同一語と見なす。たとえば、「関わる」には「関わる」と「関る」があり、本稿では、「関わる」と「関る」を同一語と見なし、両方の頻度を数える。

④ 頻度検索の際、平仮名表記の語がある場合、同音の漢字表記の語と同一と見なす。ただし、多義語の場合、②の基準に従い、それぞれの頻度数の割合で分け、加算する。

3. 「NTTデータベース」による使用頻度

3.1. 韓日同形一字漢語動詞と日本語一字漢語動詞との使用傾向

先述したように、裴晋影(2008)では、韓国語で用いられる一字漢語動詞は、日本語との対応を見た際、同形対応が40%前後で見られることがわかった。こ

これらの韓日で同形対応する一字漢語動詞は、日本語ではどれくらいの使用頻度を見せているだろうか。ここでは、韓国語『民衆エッセンス韓日辞典』にみられる一字漢語動詞中、韓日で同形対応する漢語動詞全67例の中で、日本語『現代国語例解辞典』⁷⁾で記されている一字漢語動詞のみを対象とした韓日同形一字漢語動詞65例⁸⁾(A)に対し、NTTデータベース(NTT-DB)を用い、日本語一字漢語動詞の使用頻度を見ることにする。以下の表1は、その使用頻度及び頻度別割合である。なお、日本語での一字漢語動詞(B)の例数は、裴晋影(2007b)⁹⁾で用いたデータに基づき、算出した。

表1により、韓国語と同形の日本語一字漢語動詞(A)は全65例(C)で、日本語一字漢語動詞(B)の全278例(D)に対し、約23%のみに過ぎないことがわかる。が、NTT-DBでの頻度層別に、(A)を(C)で除した割合と、(B)を(D)で除した割合とを比べると、A/Cの方がB/Dよりも高頻度に傾いている。韓日同形対応を示す一字漢語動詞は高頻度のものが多いことが分かる。とりわけ、1001以上の頻度では、A/CとB/Dとで約2倍の差が見られる。A/CがB/Dより大きい例は、1001以上及び101~1000の頻度に見られ、韓日同形対応例全体の約72%を占めていることがわかる。

表1. 韓日同形一字漢語動詞の日本語一字漢語動詞の頻度別割合

NTT-DBでの頻度	一字漢語動詞の例数		割合		
	韓日同形 対応(A)	日本語 全体(B)	(A)/(C)	(B)/(D)	(A)/(B)
1001以上	23	45	35.4%	16.2%	51.1%
101~1000	24	72	36.9%	25.9%	33.3%
11~100	6	74	9.2%	26.6%	8.1%
1~10	8	49	12.3%	17.6%	16.3%
0	4	38	6.2%	13.7%	10.5%
合計	65(C)	278(D)	100.0%	100.0%	23.4%

7) 小学館辞典編集部編(1994)『現代国語例解辞典』第2版、小学館

8) 67例中、「초하다(抄hada)」、「사하다(瀆hada)」は、『現代国語例解辞典』にはその例が見られず、本稿では、これらの2例を除き、65例を比較対象とする。これらの2例も日本語では異形対応するとしたら、韓日同形対応する一字漢語動詞の割合がまた低くなるであろう。

9) 東アジア日本学会(2007b)『日本語における一字漢語動詞の語彙論的分析—活用類型及び類義語に注目して—』『日本文化研究』第24輯, pp.467~480

一方、韓日同形一字漢語動詞の中で、頻度0となるのが4例もあり¹⁰⁾、これらの4例も日本語では異形対応すると考えると、韓国語の一字漢語動詞を日本語でそのまま対応できる割合はより低くなるであろう。101~1000及び1001以上の韓日同形一字漢語動詞47例を〈資料1〉に示す。

3.2. 韓日同形一字漢語動詞とその類義の固有語動詞との使用頻度比較

韓国語一字漢語動詞に同形対応する日本語動詞にはその類義の固有語動詞もある。しかし、同形対応する一字漢語動詞とその類義の固有語動詞がある場合、韓国の日本語学習者は固有語動詞より類似した語彙形態を持つ同形の漢語動詞を用いてしまう傾向がある。実際、日本語では漢語動詞と類義の固有語動詞がある場合、どちらをより用いるだろうか。ここでは、3.1で対象とした韓国語と同形対応する日本語一字漢語動詞65例中、固有語動詞(和語動詞)の対応も見られる41例について、NTTデータベースを用い、それらの使用頻度から両語彙の使用傾向をみることにする。

以下の表2に、使用頻度による韓日同形一字漢語動詞の類義の固有語動詞との頻度比較により分類した例数とその割合を示す。

表2. 使用頻度による韓日同形一字漢語動詞の日本語和語動詞との対応比較

	漢語動詞/固有語動詞	例数	割合	合計
一字漢語動詞	10倍以上	0	0.0%	} 5(12.2%)
	2倍以上~10倍以下	4	9.8%	
	1倍以上~2倍以下	1	2.4%	

10) NTT-DBで頻度0となるのは「記す」、「択する」、「請ずる」、「寵する」の4例である。このうち、「請ずる」の韓国語での「請hada」は 前述した裴晋影(2008)によると、『韓国語学習語彙目録』と『新聞社会面』に見られ、『韓国語学習語彙目録』でも取り上げられているというのは、使用度の高い語とも考えられる。この「請ずる」と「請hada」とでは、日本語では使用例が見られないのに対し、韓国語では基礎学習語彙として取り上げられている。これは韓日の同形一字漢語動詞の異なる傾向を見せる一つであろう。

固有語動詞	10倍以上	25	61.0%	} 36(87.8%)
	2倍以上~10倍以下	7	17.1%	
	1倍以上~2倍以下	4	9.8%	
計		41	100.0%	

この比較より、韓国語一字漢語動詞が日本語で同形対応を見せても、そのまま日本語で用いることへの難しさがより明らかになったであろう。固有語動詞の類義語を持つ韓日同形一字漢語動詞41例を〈資料2〉に示す。

以下の表3は、韓国語と同形対応する一字漢語動詞中、類義の固有語動詞よりも一字漢語動詞の使用頻度の方が高い例のみを表したものである。

表3.類義の固有語動詞よりも使用頻度が高い一字漢語動詞

	一字漢語動詞	頻度数	対応する類義の固有語動詞 (内は頻度数)
1	達する	26,608	至る(10,309)
2	論ずる	554	論う(140)
3	屈する	1,409	めげる(377)、屈める(4)
4	奏する	931	奏でる(556)
5	命じる・ずる	6,793	名付ける(3,554)

4. おわりに

本研究では、辞典に見られる韓国語一字漢語動詞が、日本語と同形対応する一字漢語動詞のみを対象とし、それらの日本語での使用傾向に注目してきた。

調査対象である辞典にみられる韓国語一字漢語動詞中、日本語と同形対応する一字漢語動詞は4割弱で、韓国語一字漢語動詞が形態的に類似していても、日本語として、そのまま安易に用いるべきではないということが示唆されよう。

韓国語と同形対応する日本語の一字漢語動詞の使用頻度をみると、韓日同形対応を示す一字漢語動詞は1000以上及び100~1000の頻度に多く見られ、韓日同形一字漢語動詞の70%以上がこれに含まれることがわかった。しかし、これら

の韓日同形一字漢語動詞中、使用頻度が見られない4例を除くと、韓日で同形対応する一字漢語動詞の割合はより低くなろう。

また、固有語動詞とも対応をみせる韓日同形一字漢語動詞とその類義の固有語動詞の使用頻度比較では、同形一字漢語動詞の方が固有語動詞よりも高頻度となるのは約12%に過ぎず、韓日で同形の一字漢語動詞が用いられる場合でも、日本語における使用頻度は類義の固有語動詞よりも非常に低くなる傾向であることが判明した。ここからも、韓国語一字漢語動詞をそのまま日本語に対応することの難しさがより一層明らかになったであろう。

参考文献

1. 国立国語研究院編(2003)『韓国語学習用語彙目録』国立国語研究院(韓国)
2. 国立国語研究院編(2003)『現代国語使用頻度調査』国立国語研究院(韓国)
3. 金ヒョソン(2003)「日本語「一字漢語+する」と韓国語「一字漢語+hada」の両国語への対応関係に関する考察」『日語教育』第25輯、韓国日本語教育学会、pp.129~147
4. 裴晋影(2008)「韓国語一字漢語動詞における日本語の対応傾向」『東アジア日本学会』2008年度、春季国際学術大会及び招請講演、pp.172~177
5. 裴晋影(2007a)「韓日動詞の対照研究—韓国語の「漢語+hada」動詞に対応する日本語の動詞を中心として—」『日本近代学術研究』第15輯、pp.131~143
6. 裴晋影(2007b)「日本語における一字漢語動詞の語彙論的分析—活用類型及び類義語に注目して—」『日本文化研究』第24輯、東アジア日本学会、pp.467~480
7. 裴晋影(2006)「日韓の「漢語+hada」動詞の対照的研究—新聞社会面の動詞に注目して—」『東アジア文化研究』第11輯、東アジア文化学会、pp.421~434
8. 安田吉美・孫洛範・李淑子・箕輪吉次編(2006)『民衆エッセンス韓日辞典』全面改訂版、民衆書林
9. 全鉄(2004)『韓日両言語の「一字漢語」研究』慶尚大学校大学院日本学科博士論文
10. 天野成昭・近藤公久編(2000)『NTTデータベースシリーズ 日本語の語彙特性』第7巻、三省堂
11. 安平鎬・張根寿(2001)「「一字漢語+スル」と「一字漢語+하다」」『筑波大学「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究 研究成果報告書IV別冊 平成12年度「하다」と「する」の言語学』、pp.53~68
12. 小学館辞典編集部編(1994)『現代国語例解辞典』第2版、小学館

<資料 1 >

表5. NTT-DBの使用頻度101以上の韓日同形対応一字漢語動詞

韓国語	漢語表記	日本語	NTT頻度 1	NTT頻度 2	合計頻度
관하다	関hada	関する	45,885		45,885
달하다	達hada	達する	26,608		26,608
응하다	応hada	応じる・ずる	18,383	2768	21,151
대하다	対hada	対する	16,152		16,152
통하다	通hada	通じる・ずる	11,185	1459	12,644
명하다	命hada	命じる・命ずる	6,425	368	6,793
반하다	反hada	反する(叛する)	6,521	4	6,525
금하다	禁hada	禁じる・禁ずる	6,071	319	6,390
접하다	接hada	接する	5,286		5,286
강하다	講hada	講・じるずる	3,079	1439	4,518
결하다	決hada	決する	3,387		3,387
요하다	要hada	要する	3,121		3,121
속하다	属hada	属する	2,995		2,995
면하다	面hada	面する	2,198		2,198
표하다	表hada	表する	2,164		2,164
칭하다	称hada	称する	1,967		1,967
봉하다	封hada	封じる・ずる	1,743	0	1,743
열하다	熱hada	熱する	1,580		1,580
평하다	評hada	評する	1,505		1,505
굴하다	屈hada	屈する	1,409		1,409
준하다	準hada	準じる・準ずる	852	425	1,277
기하다	期hada	期する	1,229		1,229
과하다	課hada	課する	1,191		1,191
발하다	発hada	発する	950		950
주하다	奏hada	奏する	931		931
승하다	乘hada	乗じる・乗ずる	828	32	860
정하다	呈hada	呈する	853		853
제하다	際hada	際する	804		804
자하다	資hada	資する	713		713
해하다	害hada	害する	710		710
논하다	論hada	論ずる		554	554
과하다	科hada	科する	544		544
분하다	扮hada	扮する	457		457
화하다	化hada	化する	454		454

회하다	会hada	会する	454		454
모하다	模hada	模する	373		373
벌하다	罰hada	罰する	369		369
약하다	略hada	略す・略する	128	216	344
처하다	処hada	処する	338		338
동하다	動hada	動じる・ずる	100	225	325
격하다	激hada	激する	307		307
득하다	得hada	得する(徳する)	306	1	307
염하다	念hada	念じる・ずる	249	24	273
임하다	任hada	任じる・ずる	185	81	266
변하다	變hada	変じる・変ずる	62	128	190
순하다	殉hada	殉じる・ずる	137	33	170
비하다	比hada	比する	159		159

<資料 2 >

固有語動詞の類義語を持つ韓日同形の一字漢語動詞(41例)

과하다(課hada) → 課する／掛ける

관하다(関hada) → 関する／かかわる、かける、つく、おく

굴하다(屈hada) → 屈する／屈める、めげる

금하다(禁hada) → 禁じる・ずる／止める、耐える、抑える

기하다(記hada) → 記す／書き記す、書きとめる、書き付ける

논하다(論hada) → 論ずる／論う

농하다(弄hada) → 弄する／ふざける

달하다(達hada) → 達する／至る

대하다(対hada) → 対する／向かい合う、向う、仕向ける、当たる、かかわる、
こたえる、比べる、もてなす

동하다(動hada) → 動じる・ずる／動く、起こる、ぶり返す

면하다(面hada) → 面する／向く、臨む

면하다(免hada) → 免じる・ずる／免れる、逃れる、抜け出る

멸하다(滅hada) → 滅する／滅ぼす、滅びる

명하다(命hada) → 命じる・ずる／名付ける

모하다(模hada) → 模する／まねる、にせる

- 박하다(駁hada) → 駁する / やり返す、切り返す
 발하다(發hada) → 發する / 咲く、始まる、放つ、布く、下す
 변하다(變hada) → 変じる · ずる / 変わる、改まる、焼ける、成り変わる
 복하다(卜hada) → 卜する / 占う
 분하다(扮hada) → 扮する / 装う
 비하다(比hada) → 比する / 比べる
 사하다(謝hada) → 謝する / あやまる、わびる、斷る
 승하다(乘hada) → 乗じる · ずる / 掛ける
 약하다(略hada) → 略す · する / 省く
 응하다(應hada) → 応じる · ずる / 従う、乗る
 자하다(資hada) → 資する / 役立てる
 접하다(接hada) → 接する / 触れる、くつつく、当たる、ぶつかる、出会う、
 付き合う、うけ入れる
 졸하다(卒hada) → 卒する / 亡くなる、死ぬ
 주하다(奏hada) → 奏する / 奏でる
 준하다(準hada) → 準じる · ずる / ならう、のっとる
 찬하다(讚hada) → 讚する / ほめたたえる
 처하다(処hada) → 処する / 立つ、ある
 청하다(請hada) → 請ずる / 招く、呼ぶ、請う、求める、願う、誘う、仰ぐ
 칭하다(稱hada) → 稱する / 言う、呼ぶ
 통하다(通hada) → 通じる · ずる / 開ける、通う、流れる、通る、知らせる、
 つながる、至る、届く、わたる、経る、通す、利く
 표하다(表hada) → 表する / 示す、表わす
 해하다(害hada) → 害する / 損ねる
 행하다(行hada) → 行ずる / 行う、なす、やる、施す
 화하다(化hada) → 化する / 変わる
 화하다(和hada) → 和する / 混ぜる
 회하다(会hada) → 会する / 集まる、集う

- ❖ 투고일 : 2008. 6. 29
- ❖ 심사일 : 2008. 7. 29
- ❖ 심사완료일 : 2008. 8. 1